

令和5年7月 月例句会 会報・HP掲載句

兼題：枇杷、大暑、当季雑詠

(投句順)

枇杷の実にとび込んで行く鳥の群	城戸崎雅崇
消え行くはローカル電車枇杷熟るる	佐藤 政百
丹精の隣家の枇杷の甘さかな	大仲 正敏
朝露に濡れてまるやか枇杷光る	川田 勝美
京町家格子も揺らぐ大暑かな	森 邦彦
ゆつたりと舟が舟曳く大暑かな	安井 正浩
櫓の音を詩に潮来のアヤメかな	石原 克己
揚げ茄子の煮浸し二つ喜寿の昼	中山 知祐
色香良し梅の実拾う果報かな	新谷 亮介
長梅雨の本を抱えて眠りけり	眞田 宗興
	以上